

平成 30 年度第 2 回いわて県民情報交流センター(アイーナ)指定管理者選定・評価委員会
〔 議事録 〕

日 時：平成 30 年 7 月 25 日（水） 13:30～16:00

場 所：いわて県民情報交流センター（アイーナ） 会議室 801

出席者：

区 分	所 属	職 名	氏 名
委員長	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	学部長	吉 野 英 岐
副委員長	特定非営利活動法人クチェカ	理事長	橋 場 覚
委員	一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所	専務理事	伊 藤 賢 治
	特定非営利活動法人やませデザイン会議	理事	見 年 代 瞳
	岩手弁護士会	弁護士	佐 藤 あすか
	CAP岩手	運営委員長（代表）	高 橋 寿 美 子
	一般社団法人 岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武 田 裕 次
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	NPO・協働課長	四 戸 克 枝
		主任主査	加 藤 肇
		主事	伊 藤 則 生
指 定 管 理 者	統括グループ	統括責任者	越 田 仁 孝
		—	柳 原 敬
	運営グループ	運營業務統括責任者	澤 田 良 久
		運營業務統括副責任者	藤 澤 剛 彦
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	菅 野 清 志
	清掃グループ	清掃業務責任者	田 中 義 夫
警備グループ	警備業務責任者	大 坪 隆 行	

傍聴者：2名

1 開会 2 挨拶（四戸NPO・協働課長）に続き、吉野委員長の進行により審議を行った。

3 議事

(1) 平成 29 年度指定管理業務の評価について

ア 評価の実施方法について

（事務局から資料 1 により説明）

吉野委員長 ただいまの説明に対して質問等ありましたらお願いします。

（質問等なし）

吉野委員長 質問等はないようですので、事務局案のとおり評価を進めることとします。

イ 事前評価結果について

（事務局から参考資料により説明）

吉野委員長 ただいまの説明に対して質問等ありましたらお願いします。

（質問等なし）

吉野委員長 質問等はないようですので、次に指定管理者のヒアリングを行います。

ウ ヒアリング

（指定管理者から評価項目「①快適な利用環境の創出」の実績等について参考資料により説明）

吉野委員長 社会科見学等とは学校の行事が多いのか。

指定管理者 小学校の高学年が多い。ユニバーサルデザインに関する質問が多い。

高橋委員 アイーナのキャッチフレーズを変更した時期と理由について伺う。

指定管理者 多くの出会いを創出したいとの考えから、指定管理者が提案し平成 29 年 4 月から「ステキな出会い、これからも。」に変更したもの。

橋場副委員長 清掃業務の外部評価において、トイレと図書館事務室の評価が低いのは何故か。

指定管理者 トイレに関しては、落とすのが難しい水垢等がどうしても残ってしまうことが理由である。図書館の事務室に関しては、こまめに巡回しているが一部汚れていた部分があったもの。

(指定管理者から評価項目「④ 県民への情報提供」の実績等について参考資料により説明)

- 橋場副委員長 ホームページのアクセス件数は増加しているのか。
指定管理者 フェイスブックとツイッターを始めた後に増加し、その後は現在の年間 100 万件程度で推移している。
- 武田委員 アイーナニュースについて、多くの催事が掲載されているが、最後まで見ないと自分の関心がある催事があるかわからない。例えば子供向けや大人向けでマークを分けるなど表示方法を見直してはどうか。
指定管理者 表示方法について今後検討する。
- 吉野委員長 アイーナニュースは何部印刷しているのか。
指定管理者 毎号 8 千部印刷している。
- 吉野委員長 テレビ公告の効果をどのように捉えているか。
指定管理者 利用者からテレビ公告を見たとの声は多く聞いているが、統計的なデータは取っていないので、効果を把握する方法等について検討していきたい。
- 高橋委員 アイーナニュースの配付先毎の残部数は把握しているか。
指定管理者 残部数は把握していない。
高橋委員 配付先毎の残部数を確認し、配付先を見直すことも検討してはどうか。
指定管理者 今後検討していきたい。
- 吉野委員長 アイーナニュースはどのようなところに配付しているのか。全市町村をカバーしているのか。
指定管理者 配付先は盛岡近郊が中心で銀行や飲食店等である。盛岡以外は各広域振興局であり、全市町村には配付出来ていない。
吉野委員長 盛岡近郊以外の県民の利用促進が以前から課題となっているので、情報提供の対象についてよく検討してほしい。
指定管理者 今後検討していきたい。

(指定管理者から評価項目「⑤ 適切な施設運営」の実績等について参考資料により説明)

吉野委員長 備蓄している非常食のうち、消費期限に達したものの取り扱いはどのようにしているか。

県立大学においても相当数の食料を備蓄しているが、消費期限が近くなってきたものは、避難訓練の参加者に配付している。

指定管理者 指定管理者として、非常食を約 1000 食分備蓄している。数か月後に消費期限に達するものについては、催事等で配付することを考えているが有効な利用方法について今後検討していきたい。

吉野委員長 以上でヒアリングを終了する。(指定管理者退出)

エ 委員による評価

(各委員がヒアリングの結果に基づき事前評価の内容を見直し)

オ 委員会による評価、意見交換

各委員の評価結果の集計に基づき、評価項目毎の評価値について協議した結果、各項目とも「評価値 4 (概ね計画どおりの管理運営が行われている)」の評価となった。

(2) 平成 29 年度指定管理業務の評価結果報告書 (案) について

(事務局から資料 2 により説明)

吉野委員長 ただいまの説明に対して質問等ありましたらお願いします。

橋場委員 評価項目「⑤適切な施設運営」に記載の、避難訓練等の実施時期を人事異動の時期に配慮して設定することについては、表現が直接的すぎるので別の表現に改めてもらいたい。

吉野委員長 橋場委員のコメントの趣旨は、非常時に有機的な連携ができる体制を整えてほしいとのことなので、そのような表現に改め、掲載する項目も「③入居施設間の有機的な連携」としてもらいたい。

事務局 そのように変更する。

高橋委員 評価項目「①快適な利用環境の創出」では、「利用者の立場に立った快適な利用環境づくり」を評価しているが、私は利用者がスタッフに尋ねやすいように工夫するなど利用者の心理面にも配慮していることを評価したいので、そのような表現を加えてもらいたい。

吉野委員長 高橋委員の要望を踏まえて表現を検討してもらいたい。
事務局 表現を検討させていただく。

吉野委員長 そのほか質問等ありましたらお願いします。
(質問・意見なし)

吉野委員長 この後は、ただいまの意見等を踏まえて、事務局において評価結果報告書案を修正し、委員の確認を受けた後に公表するといった流れとなるのでよろしく願います。

吉野委員長 平成 30 年度業務の評価に当たっての提案だが、評価項目②-2 と④-1 は、それぞれ小項目が【広聴広報】となっており、事績も大変類似した記載内容になっている。

今後は、同じ【広聴広報】の小項目でも、評価項目②-2 については、「利用者の声の反映」という趣旨から、【広聴】に特化した内容を、④-1 は「県民への情報提供という」趣旨から【広報】に特化した内容に切りわけて記載してはどうか。

事務局 来年度実施する平成 30 年度業務の評価に関する評価項目は、御提案のとおり
の区分に変更させていただく。

4 その他

- ・ 事務局から第 3 回委員会の概要について説明
- ・ 第 3 回委員会における次期指定管理候補者の選定は、出席委員の評価により行うことを確認した。

5 閉 会